

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス ふうせん		
○保護者評価実施期間	R7年 1月 10日	～	R7年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 8	(回答者数)	7
○従業者評価実施期間	R7年 1月 10日	～	R7年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援から放課後等デイサービスへ、切れ目のない支援	幼児期から学齢期へと進んでも、慣れた環境、知っている職員での活動になるため、変化の多い時期にも子どもたちも安心して通うことができるのではないかと考えています。	同法人内の保育所等訪問支援を利用したり、就学に向けた助言をしたりすることで、保護者の方にも安心して就学に向けた取り組みができるよう支援します。
2	個々に合った支援の展開、工夫された活動内容	様々な専門性を持った職員が、ご家庭に寄り添いながら支援を展開しています。ただ子どもたちを預かり、療育をするだけでなく、そのご家庭も一緒に支援していきたいと思っています。	相談支援事業所や、保育所等との連携をさらに密にする(幼児の目標の共有など)ことでより充実した支援を展開できるように工夫してまいります。
3	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっており、子ども達の活動に合わせた空間となっている	学習の部屋、遊びの部屋などドアで仕切られるようになっています。また、近くには広場、公園もあり、子どもたちのニーズに合わせて場所を選んでいきます。	手すり等は現在未設置ですが、必要に応じて設置を検討していきます。全員が見えるところに予定を記入し、変更があった場合などはその都度伝えるようにしています。情報の見える化を意識していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等についての周知・説明。また、発生を想定した訓練を実施しているにもかかわらず、その件に関して保護者まで対応が周知されていないこと。	策定済みでマニュアル化されており、法人内で事業所から担当職員を決定し、会議研修を行い、保護者への周知も行っていきますが、機会が少ないと思われます。	ホームページ、事業所通信、法人通信、各家庭のLINEグループでの周知徹底や見える化を意識した活動を行っていききたいと思います。また、災害時の対応のみに対応したお便り等、周知の方法を工夫していきます。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援と、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援の有無について	家族で参加できるものはあるものの、きょうだい児だけのためのイベントは現状開催していません。茶話会に関しては平日の開催だったため、参加が少なくなつたのではないかと考えられます。	保護者が休みなどを計画的にとれるように事前の周知を早めに行います。(年間計画の作成を検討する) また、毎年継続して同じ時期に行うことで保護者の方へ認知してもらいたいと思います。
3			